

# 翻訳家の目で見た 日本古典文学の特徴

日時： 2017年11月1日(水)  
13時00分～14時10分

場所： 広島大学中央図書館  
ライブラリーホール

講演者： 翻訳家

タチアーナ・L・ソコロワ  
ニデリュージナ氏

ロシアを代表する日本文学の研究者・翻訳家の一人。  
モスクワ大学アジア・アフリカ諸国学部日本語学科卒業。  
外国語文献専門出版所勤務を経て、モスクワ大学で教鞭を  
執る。古典文学を中心に、近現代文学まで翻訳多数。「源氏  
物語」を初めてロシア語に完訳。翻訳の功績により、2008  
年日本で旭日小綬章を受章。ロシアのハイク雑誌『ハイク  
メナ』の編集協力者。著書に法木綾子訳『タチアーナの源  
氏日記』(TBS ブリタニカ)など。

聴講自由・申込不要  
日本語使用

11月1日  
古典の日

時空を超えた人間の叡智の結晶～古典。  
「古典の日」は源氏物語千年紀を記念し  
て2008年11月1日に京都で宣言され  
ました。

【お問い合わせ先】

妹尾好信 (日本文学語学分野)

yseno@hiroshima-u.ac.jp

溝渕園子 (比較日本文化学)

mizobuti@hiroshima-u.ac.jp